

④ 学校における合理的配慮の観点（障がい種別ごと）

本資料は、文部科学省「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）別表」を参考に作成したものです。
下線部は愛媛県総合教育センターにおいて追加しました。

- ◆ここに示されているものは、あくまで例であり、これ以外は「合理的配慮」として提供する必要がないということではありません。
- ◆複数の障がいを併せ有する場合には、各障がい種別に例示している「合理的配慮」を柔軟に組み合わせ検討しましょう。
- ◆記載していない項目についても、「合理的配慮」として提供する必要がないというものではありません。一人一人の障がいの状態や教育的ニーズ等に応じて検討しましょう。

④ 学校における合理的配慮の観点（障がい種別ごと） 視覚障がい

※文部科学省「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）別表」を参考に作成したものです。下線部は愛媛県総合教育センターにおいて追加しました。

①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

◎見えにくさを補うことができるようにするための指導を行う。

- ・弱視レンズ等の効果的な活用ができるように指導を行う。
- ・他者へ積極的に関わる意欲や態度を育成する。
- ・見えやすい環境を知り自ら整えることができるように指導を行う。 等

①-1-2 学習内容の変更・調整

◎視覚による情報が受容しにくいことを考慮した学習内容の変更・調整を行う。

- ・状況等の丁寧な説明をする。
- ・複雑な図の理解や読むことに時間が掛かること等を踏まえた時間延長をする。
- ・観察では、必要に応じて近づくことや触感覚の併用を促す。
- ・体育等における安全確保をする。 等

①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮

◎見えにくさに応じた教材及び情報の提供を行う。

- ・聞くことで内容が理解できる説明や資料を提供する。
- ・拡大コピー、拡大文字を用いた資料を提供する。
- ・触ることができないもの（遠くのものや動きの速いもの等）を確認できる模型や写真を提供する。 等

◎視覚障がいを補う視覚補助具やICT機器を活用した情報の保障を図る。

- ・画面拡大や色の調整をする。
- ・読み上げソフトウェアを活用する。 等

①-2-2 学習機会や体験の確保

◎見えにくさからの概念形成の難しさを補うために、実物や模型に触る等能動的な学習活動を多く設ける。

◎気付きにくい事柄や理解しにくい事柄（遠かったり大きかったりして触れないもの、動くものとその動き方等）の状況を説明する。

◎学習の予定を事前に知らせ、学習の過程や状況をその都度説明することで、主体的に状況判断ができるように指導を行う。

①-2-3 心理面・健康面の配慮

- ◎自己の視覚障がいを理解し、眼疾の進行や事故を防止できるようにするとともに、身の回りの状況が分かりやすい校内の環境作りを図り、見えにくい時には自信を持って尋ねられるような雰囲気を作る。
- ◎視覚に障がいがある幼児児童生徒が集まる交流の機会の情報提供を行う。

②-1 専門性のある指導体制の整備

- ◎特別支援学校（視覚障がい）のセンター的機能及び弱視特別支援学級、通級による指導等の専門性を積極的に活用する。また、眼科医からのアドバイスを日常生活で必要な配慮に生かすとともに、理解啓発に活用する。
 - ・巡回相談や専門家チームを活用する。
 - ・定期的にケース会議を持ち、情報共有するとともに必要な合理的配慮について検討を重ねる。 等
- ◎点字図書館等地域資源の活用を図る。

②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮

- ◎本人特有の見えにくさ、使用する視覚補助具・教材について、周囲の幼児児童生徒、教職員、保護者への理解啓発に努める。
 - ・関係する教職員が集まって情報交換会を行う。 ・保護者対象の研修会を行う。
 - ・関係者が集まって支援会議を行う。
 - ・教職員や保護者向けの書籍・教材を購入・貸出しをする。 等

②-3 災害時等の支援体制の整備

- ◎見えにくさに配慮して災害とその際の対応や避難について理解できるようにするとともに、緊急時の安全確保ができる校内体制を整備する。

③-1 校内環境のバリアフリー化

- ◎校内での活動や移動に支障がないように校内環境を整備する。
 - ・廊下等も含めて校内の十分な明るさを確保する。
 - ・分かりやすい目印、段差等を明確に分かるようにして安全を確保する。 等

③-2 発達、障がいの状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮

- ◎見えやすいように環境を整備する。
 - ・まぶしさを防ぐために光の調節を可能にする施設（ブラインド、カーテン、スタンド等）を設置する。
 - ・拡大読書器を活用する。 等

③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

- ◎避難経路に明確な目印や照明を設置する。